

標記労働争議ハ會社側カ艱労働組合員タル多數従業員
ノ團結ニヨリ良好ナル作業能率ヲ示メシ居レル關係上
態度依然トシテ強硬ナル爲メ争議團體ハ普通手段ニテ
ハ到底有利解決ノ見込ナキノミナラズ労働組合ノ潰滅
ニ導シ延ヒテハ指導幹部ノ面目ニ至キ係スルニ至レル
狀況ナリシ爲メ、妻服ノ通り總同盟系労働団体ノ常套手
段ナル不法又ハ卑劣ノ手段ヲ取テ停止スルニ及ナキ
有様ナリシカ元來本章議ハ労働組合對労働組合ノ亂
暴ニ基因スル労働組合側ノ暴行事件ニ發端セルニ
ノニシテ労働組合側ニ不評ナル動機アリ抗争セハ何等
カノ利得アリト思惟シ従業員ヲ煽動シ本章議ノ拡大化シ
図リタルモノナルカ不法行為ニ對スル取締ノ嚴重ナル

ニ及マキ工場主ノ誹謗シ又ハ警察取締ノ不肖ヲ鳴ラシ
或ハ取締警察官ノ行動ニ對スル虚偽ノ悪宣傳シ爲シ
取締ノ緩和ヲ策セント目的ノ爲メニハ手段ヲ選バザル
ノ態度ヲ採リ且經末他ノ手段ニ於テ本章議中發生セル
各種違法行為ニ輕度ノ制裁ニ對シテハ殆ト不問ニ附サ
レ偶々送局サル、又起訴猶豫ニ終ル場合多ク狀況ナルヲ
知リ益々陰險ノ心ヲ跋シ選ニ左翼労働組合ニ及ハサル
兩方手段ヲ敢テシ將来取締上ノ悪影響ヲ胎ス虞レアリ
所轄寺島千住兩警察署ニ於テハ夫々通シナル取締ヲ加
ハタルモノナルカ本章議團體幹部ハ本章議ノ修敗ハ警察取締
ノ圧迫ニ因ルモノナリトシテ社民府議シシテ東京府會
ニ於テ質問シ爲サシムヘク先般東京鐵工組合（前田